

ナシ黒星病の発生が多い状況です

「幸水」果実が再び感染しやすくなる 6 月下旬～7 月中旬の防除を徹底しましょう

[発令の内容]

作物名 : ナシ
病虫害名 : 黒星病
発生量 : 多い
発生地域 : 県下全域

[発令の根拠]

- ① 6 月上旬現在, 発病果率及び発病葉率ともに平年より高い (図 1, 2)。
- ② 気象予報によると, 向こう 1 か月の天気は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想され, 発生を助長する条件である。

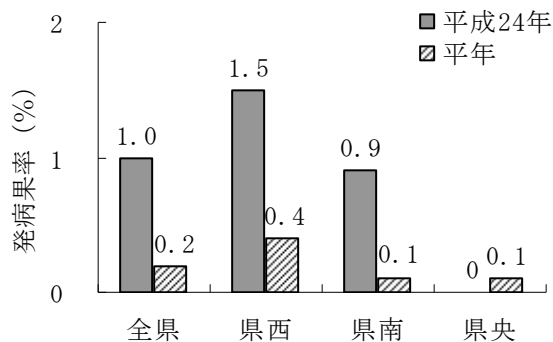


図 1 6 月上旬の県内のナシ黒星病発病果率

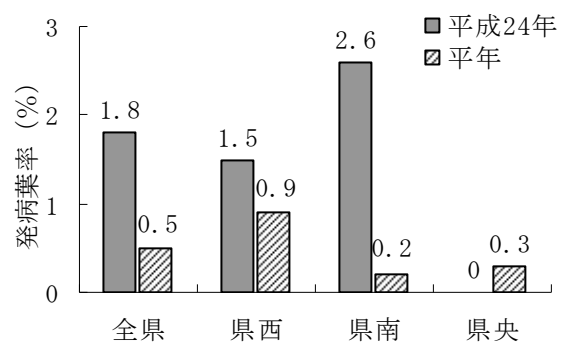


図 2 6 月上旬の県内のナシ黒星病発病葉率

[防除対策]

- ① 発病した果実及び葉は二次伝染源となるため, 見つけ次第除去し, 土中深く埋める等, 適切に処分する。
- ② 平成 24 年版赤ナシ無袋栽培病虫害参考防除例を参考に, 必ず発病部位を除去した後, 散布間隔が 10 日以上空かないように防除を実施する (表 1)。特に「幸水」の果実は, 開花約 65～85 日後頃に再び感染しやすくなるため注意する (表 2)。
- ③ 薬剤は, 10a 当たり 300 リットルを目安に丁寧に散布する。圃場の周縁部等, 薬液のかかりにくい部分に対しては, 手散布等により補正散布を行う。

表1 平成24年版赤ナシ無袋栽培病害虫参考防除例の一部抜粋
(6月中旬～7月中旬の殺菌剤, 茨城県版)

時期	薬剤名	希釈倍数	成分名
6月中旬	ナリアWDG	2,000倍	ピラクトロピドン ボスカリド
6月下旬	ベルコートフロアブル	1,500倍	イミクタジン
新梢発育停止期 (7月上旬)	ストロビードライフロアブル	3,000倍	クルキシメチル
7月中旬	アンビルフロアブル	1,000倍	ヘキサコナゾール

表2 ナシ「幸水」が黒星病に再び感染しやすくなる時期 (開花65日～85日後)

地点	開花65日後	～	開花85日後	開花日 ¹⁾	満開日
笠間市	6月28日	～	7月18日	4月24日	4月27日
かすみがうら市 (旧霞ヶ浦)	6月26日	～	7月16日	(4月22日)	4月25日
かすみがうら市 (旧千代田)	6月28日	～	7月18日	(4月24日)	4月27日
石岡市	6月28日	～	7月18日	(4月24日)	4月27日
筑西市	6月25日	～	7月15日	(4月21日)	4月24日
下妻市	6月25日	～	7月15日	(4月21日)	4月24日
八千代町	6月26日	～	7月16日	(4月22日)	4月25日

1) カッコ内は満開日から推測した日付